

社会福祉法人千駒会 おおたわら保育園（大田原市／令和7年10月27日訪問）



訪問先データ

おおたわら保育園

大田原市住吉町 1-12-29

0歳児：10名 1歳児：11名 2歳児：20名
3歳児：20名 4歳児：19名 5歳児：20名

職員数：25名

こんな保育園です

2004年4月に開園したおおたわら保育園は、理事長先生のこだわりで、大田原市で有名な「那須与一の扇」をイメージした扇の形をしています。大田原市の中心部に位置していて、アクセスしやすい場所となっています。おおたわら保育園の他に同じ法人内の施設として、那須町に「なすのそら保育園」「子ども発達支援センター・放課後等デイサービス そらまめ」があります。

大田原市はお祭りが多く開催されており、「与一まつり」「夏越大祭（大田原神社）」「屋台まつり」では子どもたちも一緒に参加しています。「いろんなことを経験させてあげたい」という施設長の思いがあり、お祭りの他に茶道等、他園にはない経験をすることが出来るのが魅力になっています。特に「夏越大祭」では、女の子は巫女の衣装を着て参加をするため、子どもたちだけでなく保護者にも大好評となっています。

働き方は・・・

職員の年代は30～40代が多く、子育て世代の先生が多く働いています。施設長のお話だと「子育てしやすい環境づくりが整っている」そうです。お休みは前月にシフト表に記載してもらい、希望通りの休みが取得可能です。土曜保育の担当は現在月1回程度回ってくるそうですが、土曜保育専門の先生がいるため、今後は2ヶ月に1回に減少するかもしれないとのこと。土曜出勤した際は別日代休もあり、好きなタイミングで取得可能です。お盆や年末年始などの長期休暇の際は、保護者向けにお休みの予定を聞き、子どもの人数によって長期休暇も取得することができます。

月案や週案などの事務処理については、現在のところ手書きが主流となっていますが、今後は保育士の負担軽減のためネットワーク環境を充実させICT化を推進していく予定だそうです。事務所でできる作業（写真等）は、なすのそら保育園と同様「ルクミー」を導入し、保育士の負担軽減になっています。掃除は職員全員で分担して行っています。少しでも職員の負担を軽減できるようにとの施設長の思いで、園内には各階に掃除ロボット「ロボロック」が設置されています。

主任の先生よりメッセージ

採用するにあたり、長い時間働いてくださる方を希望しています。男性保育士の方のご応募も大丈夫です。まずは一度園に見学をしに来てください。



園庭では、運動会を開催しています。



訪問をしたときは、お天気が良かったので、テラスでおやつを食べていました。



給食室では、毎日おいしい給食が作られています。給食費は主食・副食込みで1食300円となっており、食べた分だけ徴収となっています。



扇形の園舎の中心にあるお遊戯室です。ここでは、発表会が開催されます。お遊戯室に隣接している保育室を開放して、保護者の観客席にしています。



保育室には、子どもたちの作った作品が飾られています。



コロナウイルスの影響で、幼児組は子ども1人につき1台机があり、給食も1人1枚トレーに提供されます。おやつの際はコロナウイルスが緩和されたこともあり、2人で1台机を使っています。



園舎が2階建てのため、給食を2階に上げるためのエレベーターが設置されています。手前にはお掃除ロボット「ロボロック」があります。



2階にあるテラスでは、夏になるとプール遊びをします。